

能登半島地震災害派遣薬剤師活動報告 第3報

令和6年1月27日(土)

<22時36分報告>

【派遣日程】1月25日(木)~1月29日(月)

【報告者】北泰輔

【メンバー】千代延誠治、高崎裕也

【派遣先】輪島ふれあいセンター

【気象情報】曇り時々雨

【交通状況】道の起伏あり、場所によって片側車線のみでの走行、避難所によってはナビ通りではいけないことも

【ライフライン】上水道×/電気○/トイレ× 仮設トイレあり、感染症対策○(避難所によっては×)

【避難所情報】青森班と佐賀班の2チームで分担し11ヶ所をラウンド(OTCの有無と管理の確認、環境衛生)

【活動内容】石川県薬担当の乙田先生が熱発ありでお休み(28日まで)のため、避難所のOTCの調査と環境衛生の確認をメインに活動(乙田先生復帰後、避難所におけるOTCの取り扱い等に関して取り組まれる予定)

5:30 柴垣本部(羽咋市)出発

6:30 穴水総合病院(仮設トイレでトイレ休憩)

8:10 輪島ふれあいセンター着(渋滞が前日より少なくスムーズに走れた)

8:30 <千代延、高崎>D-MAT本部(能登市役所)まで担当の薬剤師より連絡あり災害処方箋の原本受け取り

9:00 <北>ふれあいセンター全体ミーティング(東京都薬、佐賀県薬、山梨MP)

9:30 調剤された災害処方箋の薬剤を配達(2件)、前日調査していないところではOTC、環境衛生の調査

9:50 輪島高等学校に配達、医療チームの看護師に手渡し、患者に関しての聞き取り、OTC、環境衛生は前日青森が行われているため配達のみ

10:00 大屋小学校、本人不在、医療、環境衛生を管理されている養護教師にお渡し、患者背景聞き取り行う。環境衛生の管理、換気、土足の範囲等问题あり、養護教師も分かってはいて張り紙などはされているが、そこまで手が回っていない現状あり

10:20 町野町方面の避難所のラウンドに回ろうとするがナビが示した道が寸断で通れず

12:00 本部に戻り、昼食

13:00 青森と分担し、避難所の調査に

13:30 おおぞら天翔河原田：I類のロキソニン S クイックが7箱あり、施設管理者がいなく、対応していただいた方に内容とリーダーの連絡先を記載し、回収。環境衛生等聞き取り（15時ごろ管理者と連絡とれ、理解していただき、出所不明であることわかる）

13:50 河原田公民館：OTCあり 管理○

14:40 三井公民館：OTCあり I類はなし、ただ近医の宮下医院（今回被災され医院は倒壊）より貼り薬と塗り薬がいくつか配布あり、使用頻度低く、また管理もしっかりされていることを確認

三井町から穴水町方面に向かった場所で東京都薬リーダーに、三井近辺、能登空港側の避難所2ヶ所を周り、その後柴垣本部への直帰の許可をいただく

15:00 谷ロビニールハウス OTCなし、医療チーム介入後換気意識されていたが、1ヶ所だけの開放のため、風の通りに関してお伝えする（寒さもあるのでできる範囲で）

15:50 坂田集会所：OTCなし 高齢者4名、医療チームは医師のチームが1回、我々が2回目の訪問とのこと、区長さんがお世話をされているようですが、区長は不在

16:10 能登空港：本日から再開されているが9名の方がまだ避難されている。被災されてこちらにいらっしゃった医師から薬剤が提供され残されていたが、施設職員が管理、渡したりはされていないこと確認。体調不良に関しては、風邪くらいはOTCで対応、それ以外は航空学校のD-MAT、もしくは救急車で対応されるようにしていること確認。

18:30 羽咋市に戻り、夕食

21:00 全体ミーティング

以上